

どの子どもも輝く  
笑顔いっぱい  
とねがわ幼稚園

# とね幼だより

よい頭・よい躰・強い体



平成30年7月

## 子どもは、この瞬間を生きている

園長 笛木 哲

目の前にいる子ども達は、過去を振り返り、未来に思いをはせることが苦手です。今、この瞬間に命を輝かせるのが、子ども達です。だから、同じ過ちを何度も繰り返しますし、目標があってもこころりと忘れてしまいます。

今を精一杯生きている子ども達の言動は、大人からすると、やることなすこと気になります。だから叱ったり、たしなめたりすることが多くなります。でも、思い出してみると、私たち大人にも子ども時代がありました。純真な思い、あらゆることに興味関心を持つ感性、じっとしていられないくらいやりたいことがいっぱいの頭の中…。たくさん叱られて、諭されて、気づかされ、そして今に至っています。大人は子ども時代があったからこそ、子どもの危うさや至らなさが分かります。自分の子ども時代の失敗や後悔をさせぬよう、よかれと思いい口を出します。そんな大人の言葉を子ども達は「どうして、大人はわかってくれないの？」と思うことがあるでしょう。

『百聞は一見にしかず』ということわざがあります。何度も同じことを言われるよりも、自分で体験し、自分の頭で考え、乗り越えてこそ腑に落ちる（分かる）ものです。子どもの時にしか経験できない思いや体験を大切にするためにも、子どもがしてしまった結果だけに目くじらを立てるのではなく、自分の子どもの頃に帰って、子どもの思いに向き合うことが大切だと思います。叱る時も、頭ごなしに叱るのではなく、「分かるよ、お父さんも子どもの頃そうだったよ。でもね…。」としたらどうでしょう。

## 園長3ヶ月 未知との遭遇

- 毎日、鼻をほじっている子に出会います。鼻をほじった子は、当たり前のように鼻くそを食べます。私がげげんな顔で見ると、かえって不思議そうな顔で見返されます。
- 登園する子と挨拶をしている時のこと。「園長先生、遊ぼう。」「挨拶が終わってから遊ぶね。」「園長先生はどうして一人なの？ 二人いれば遊ぶ園長先生と挨拶する園長先生がいるのに。でもどっちが本物かわからなくなっちゃうかな。」
- 私の頭を見て「どうして園長先生の髪の毛は白いの？」と。別の子は、頭の天頂を見て、髪が薄いとは言わずに「園長先生は、肌が見えるね。」と。心遣いありがとう(^O^)
- 園児から「園長先生！」と呼ばれたので、「なあに？」と教室の窓から顔をのぞかせると、まっすぐな瞳で「おじいちゃん、あのね…。」ですって。
- 小学生とは目線の位置が違うため、園児との挨拶は膝をついて行きます。3ヶ月続けているうちに、生まれて初めて膝に『座りだこ』ができました。



## 親の思い・親の願い

- 幼稚園でのことをあまり家では話さない〇〇ですが、友達の名前がチラホラ出るようになってきました。この間、幼稚園で死んでいるハチをお友だちといじめたようで、「今日の夜は、ハチが夢に出てくるね。大きいハチに追いかける夢を見るよ。」と脅かしました。生きている虫や花はもちろんです、死んでいる虫でも優しくできる子に育って欲しいと思っています。（「すくすく」 年少児のお母さんの返信から）
- バスから降りた息子の服が汚れているのを見たお母さん。「わあ、いっぱい遊んできたんだね。」と満面の笑みで〇〇くんを迎えます。「こんなに汚して(へ)。洗濯するのが大変なのよ(ε´)。」と叱られるのかと思った先生は、「私も〇〇くんのお母さんのような母親になります。」と報告してくれました。

★水遊びが始まりました。汚れ物を増やしてしまい申し訳ありません。でも、私たちは、水と無心になって遊ぶ子ども達が、自然物の手触りや匂い、水や砂とのつきあい方、人との関わり方などを体得し、それらを組み合わせ、発展させながらドラマチックに学ぶよう取り組んでいます。小学校にはない、幼稚園だけのダイナミックな学びです。もうしばらく辛抱し、ご理解ください。



「色水屋さん」… 和紙にしみこませた絵の具を水に溶かします。手作りお金のやりとりが始まり、年長さんが自発的にお店屋さん。

### 園児が輝く(個性的に学ぶ) その時

<p><b>年少児 園外保育で発見!</b> ある子がキノコを見つけ、「<b>毒キノコだ!</b>」と叫びます。怖いキノコのはずなのに子ども達は興味津々です。</p>	<p><b>こおり鬼の鬼決め</b> 年長さんの声がけで、一斉に足を出して鬼を決めます。どういうわけか園長が鬼なることが多いのは何故?</p>	<p><b>優しい手と手</b> 二人で持ったからといって手提げの重量は変わらないのに、軽く感じるのは二人が優しい心の持ち主だから。</p>
<p><u>うれしいな。</u> <b>新しいお友だちが増えました!</b> ちゅうりっぷ組に福泊紗良<sup>さら</sup>さん、片野成<sup>なる</sup>さんが入園し、園児数210名となりました。</p>	<p><b>雨に濡れたコンクリート</b> 雨の日、濡れたコンクリートをたたき始めました。大人には見つけられない『遊び』を発見した瞬間です。</p>	<p><b>雨の日のホールは遊園地</b> 園庭の使えない朝の自由遊びの日。ホールには様々な遊具が出されます。一番人気はエアートランポリンです。</p>

7・8月の歌は「南の島のハメハメハ大王」「海」です。お家でもお子さんと一緒に歌ってみてください。